

電機・電子4団体環境セミナー REACH及び欧州／中国RoHSの最新動向と 電機電子業界の対応について

■主 催：電機・電子4団体 製品化学物質専門委員会

■担当部署：環境部

■参加者数：東京会場 約280名 ／ 大阪会場 約100名

概 要

欧州RoHS指令は今年で施行後4年目を迎え、指令本文の全面的な改正作業が現在行われています。医療関連機器、監視機器および制御機器を対象に加えるとともに、これまでRoHSの範囲としてまったく考慮されてこなかった多くの分野の各種製品を含めること、新たな禁止物質を追加することなどが提案されています。また並行して除外項目の改訂作業も進められています。私たち電機電子業界のみでなく、より幅広い業界に対しても新たな対応が求められることとなります。

また、2007年に施行されたREACH規則においては、原材料から調剤、部品、製品と、業界を横断したサプライチェーン全体での含有情報、用途情報等の流通・共有が求められます。REACH規則は、その法令の複雑さもあり、これまで内容が十分理解されず、過剰な情報、的外れの情報を求めたり、提供したりといった混乱が発生しているケースも散見されます。

先行する欧州に続き中国もまた製品環境規制を独自にすすめています。従来有害6物質の含有表示を要求してきたいわゆる中国RoHSも製品ごとに6物質の含有禁止について強制認証を求める第2段階を迎えつつあり、その製品リストである「電子情報製品汚染制御重点管理目録（第一回）」の意見募集案が2009年9月に公示されています。

4団体製品化学物質専門委員会（欧州化学品規制WG、中国化学品規制WG）では、欧州ならびに中国の製品含有化学物質規制の動向を調査し、わが国の電機電子業界の主な意見を集約し、現地の組織とも連携しつつ、意見具申等ロビー活動を行っております。

現在までの活動の中で得られた、欧州ならびに中国の製品含有化学物質規制の最新動向をご紹介しますことにより皆様の製品含有化学物質規制対応への一助となることを願い、本セミナーを開催いたしました。



プログラム

東京 2010年3月4日(木)

○開催の挨拶

4団体製品化学物質専門委員会 委員長 塩田 久 氏 (三菱電機(株))

○「海外環境規制の動向について」

経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課 課長補佐 谷 浩 氏

○「欧州化学品規制の最新動向と日本企業の対応 (RoHS指令改正案及びREACH規則の最新動向)」

4団体欧州化学品規制WG 主査 堀ノ内力 氏 (日本電気(株))

4団体欧州化学品規制WG 副主査 加賀美利夫 氏 (日本ケミコン(株))

○「中国版RoHS (電子情報製品污染制御管理弁法) の動向」

4団体中国化学品規制WG 副主査 北原武夫 氏 (ブラザー工業(株))

4団体中国化学品規制WG 副主査 井上英次 氏 (TDK(株))

○質疑応答

大阪 2010年3月8日(月)

○開催の挨拶

4団体製品化学物質専門委員会 副委員長 大槻勝博 氏 (シャープ(株))

○「欧州化学品規制の最新動向と日本企業の対応 (RoHS指令改正案及びREACH規則の最新動向)」

4団体欧州化学品規制WG 副主査 高橋邦夫 氏 (コニカミノルタビジネステクノロジーズ(株))

4団体欧州化学品規制WG 副主査 加賀美利夫 氏 (日本ケミコン(株))

○「中国版RoHS (電子情報製品污染制御管理弁法) の動向」

4団体中国化学品規制WG 主査 川上哲司 氏 (パナソニック(株))

4団体中国化学品規制WG 委員 倪 悦勇 氏 (船井電機(株))

○質疑応答